

小中学校のあり方意見交換会 議事録 (加須北中学校区)

令和5年12月13日 15:00～16:30
パストラルかぞ(展示室)

参加者

幼稚園評議員及び小中学校評議員 12名

教育長・教育委員

小野田教育長、遠藤委員、猪股委員、松永委員、片山委員

校長・園長

中里加須北中学校長、刑部樋遣川小学校長、武内大越小学校長・大越幼稚園長

事務局

斉藤生涯学習部長、中島学校教育部長、野本こども局長、高貫教育総務課長、関口こども保育課長、岡田教育総務課主幹、野本学校教育課主幹兼指導主事、瀬高学校教育課主幹兼指導主事、澁谷学校教育課主幹兼指導主事、荒木こども保育課主幹兼指導主事、杉田教育専門員、折原教育総務課主査

意見交換

学校ごとにグループで話し合いを実施(校長同席、教育委員会職員も会話に参加)

会議資料

別添資料のとおり

幼稚園・小中学校評議員からの主な意見（学校ごと）

【加須北中学校】

- 意見交換のテーマが自由すぎる。統合するとしたらなど話し合いのテーマが欲しかった。
- このままでは良くない、無理だろう、維持するのは適正ではないと「何かしなければいけない。」との意見でまとまった。
- 統合するにしても、どこと統合するのか、小学校で済むのか、中学校もかという意見が出た。
- お母さん方の意見も聞く必要がある。お迎えが必要になるのか、スクールバスなのかも心配になってくるだろう。
- 学年で1クラスだと部活動も運営できていないことを考えると、進んでいくべき道は統廃合となるのではないかな。

【樋遣川小学校】

- 小規模校のメリットもたくさんあり、いろいろなモデルがあるという意見もあったが、6年後の令和11年度の人数規模を見ると、このままでは厳しい。この2校で統合したとしても、限界がある。
- 統合する前の旧加須市、旧大利根町などの垣根をなくし、他の地区との統合があってもいいのではないかな。
- 統合ありきで話しをしているようなところがあるが、統合することによって、子どもたちの教育効果を落とさないことができるのか疑問がある。小規模校でも、教育効果を高める事例がたくさんある。デメリットを押さえて、メリットを最大限に生かすようなアイディアや努力が必要である。
- 加須市では7割方が小規模校であり、統合はいろいろなことが複雑に絡んでくる。基本的には統合ありきではない。
- 小規模校としてのメリットを把握しながら、児童生徒にとって何が大切かを考えていくべきだ。
- 学校の統合をする場合には、学校名は大きな問題と考える。

【大越小学校】

- 地域的なことを考えると、今後増える可能性は低い。
- 穏やかなところが良いという方もいるが、今後のことを考えると統合はやむなし。
- 小規模校には小規模校のいいところがあるが、将来社会に出たときのことを考

えると、余りにも小さな中で育ってしまうと社会の荒波に耐えられない子も出てくるため、具体的にどこの学校と一緒にになるかは今後の課題としても、どこかと一緒にになる必要があるのではないかと。

- 通学の足をどうするか、スクールバスとするのか、その場合下校が低学年と高学年で時間が異なるためどのようにするのか、今後皆さんの意見で解決していく必要がある。

【大越幼稚園】

- 加須市として子どもは減っているが、若者が出ていく現状をどのように考えているのか聞きたい。
- 病院を中心として駅の南側の開発に力を入れているが、北側の開発はどのように考えていくのかを聞きたい。
- 統合していくのでしょうか、樋遣川小、大越小に加えて原道小や豊野小まで1つの小学校としても良いのではないかと。

幼稚園・小中学校評議員からの質問等

問 意見交換をした後、市の計画の策定まではどのくらいの期間を想定しているのか。

答（斉藤生涯学習部長） 学校区ごとの意見交換会は2月上旬まで行う。その後、保護者や自治会の方との意見交換を4月以降に行う。さらに、その後、オープン参加の意見交換会を行う。春から夏にかけてその意見をまとめ、教育委員会や総合教育会議などでの協議を繰り返していく。審議会を立ち上げる構想もあるが、具体的にいつという計画はない。

答（教育長） 具体的な計画を策定するには審議会を立ち上げる。丁寧に聞き取った意見を事務局で整理し、教育委員会や市長部局と情報共有しながら、審議会に諮問していきたい。来年度中に諮問ができればいいと思っているが、外部の審議会での審議期間を確保する必要があるため、約束はできない状況にある。

問 本日の資料を加工して、地域の会議で活用してもよいのか。

答（斉藤生涯学習部長） 本日の資料は、地域での活用は可能である。本日、学校評議員を対象とした意見交換会があったことを含めて話していただきたい。その際には、「学校評議員を対象とした意見交換会を全中学校区で実施していると聞いている。また、その後も対象者を拡大しながら意見交換会を開催すると聞いている。」と皆様からお伝えいただきたい。今日、都合により欠席した学校評議員には、郵送で資料送付

する。

問 表題の適正規模・適正配置の意味がわからない。

答（斉藤生涯学習部長） 文部科学省では、小学校は12学級以上18学級以下とあるが、加須市においてどの程度が適正規模なのか適正配置なのかは現在のところない。

意見 適正規模の定義はないのでしょうかという質問があったように、今後の6学校区での意見交換会では質問をクリアした資料とするとともに、ここで出た意見を情報提供すると意見が出やすいのではないか。